

すなお

令和6年3月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮 英治

発行日 2024.3.16 通巻 No.764



会 長

先月24日、大教会の祭典後に教会長夫妻おたすけ推進の集いが開催されました。ビデオや講話を聞き、その後各班に分かれて練り合いをさせていただきました。

その時に同じ班の会長さんから「おさづけをして奇跡を見せていただいた！」という信仰からの脱却が必要という話を聞きました。つまりはおさづけによって元の姿に戻っただけで何の変哲もない日々こそ奇跡の連続であり、親神様の御守護あつてのこと。その事を感じどれだけ深く感謝、報恩の思いを持つことができるかが大切ということでした。

私達の普通の日々は、プラスマイナスで考えると基本0なのではないでしょうか。それとも基本100なのではないでしょうか。はたまた-50なのではないでしょうか。この受け止め方によって、毎日の行動や考え方、言葉の出し方が変わってくると思います。

今日元気で起きることが出来て（起きなきゃいけない）仕事出来る！（仕事に行かないといけない）家事出来る！（家事をしないと出来ない）車に乗れる！（車の運転をしないと出来ない）前者の心で生きるか後者の心で生きるかは一人ひとりです。大切な急所です。誰かのためにそう考えるのではなく、みな我が事です。



“心澄ます道”へ出発

二宮 鈴代

私、84歳にならせていただきました。気がつけば親会長さんを見送らせていただいた年齢です。

20歳の夏、今治の地に布教に来させていただき、それから64年の歳月が過ぎました。小さなカバン一つからの出発でした。言葉に言い尽くせないような試練の道中、教祖のひながたを心の支えに歩んだ年月は私の胸の中に、今輝いています。教祖やおちばやと情熱の限り人助けの道を歩んだ年月は私の宝物です。

大勢の人達との出会い、そして奇跡の御守護をいただいた人達は数え切れません。当時辛苦を共に歩んだ多くの人達は先に旅立たれました。奈良の農家の娘として生まれた小さな私が考えられない大きな舞台で思い切り飛び回らせてもらいました。支部、大教会、本部の御用にと私の人生はとってもありがたかったです。私には過ぎる子供達の成長もこの上ない感謝です。何一つ思い残す事はございません。

日々、霊様を偲び感謝と御礼の毎日ですが、あとわずかに残して下された日々を若い頃からの念願である（おちばで暮らしたい）の夢を実現させていただく御守護をいただきました。（次ページへ）

高齢の私一人では叶わぬ事ですが、孫の大西勇輝が天理大学入学の御守護をいただき、この機会こそ教祖が私に下された「鈴代、おちばへ帰っておいで」の御声と受け止めて決心いたしました。3月末より参ります。

高齢の私に残された御用はささやかな事ですが、”心澄ます道” 見ては喜び聞いては喜びの陽気ぐらしの境地に向かって心の掃除に励ませていただきます。日々かんろだいに参拝させていただける喜びを今は最高の楽しみと心弾ませています。



自然に身体を委ねて

二宮 真悟

大教会のバンド活動で天理に行く事がしばしばあるのですが、天理に向かって24号線を走る途中、5時ごろになると西の空から夕陽がスッと差し込んできます。ホント何気無い景色なんです、その景色を見るといつも自分の疲れた心が癒される気がします。

余談になりますが、動物には体内時計というものがあまして、それは、朝になると目が覚め、夜になると眠くなる、お腹が空くと食事をする、そういった単純なものです。しかし、人間に関しては別で、その体内時計がすごく細かくなってしまっているそうです。さらに日本人は時間に対してはタイトですので体内時計は分刻み、秒刻みになっています、それは無意識のうちに身体や心に負荷をかけ、今のご時世、時間のストレスは相当なものになっています。その狂った体内時計を元に戻す方法が、自然。すなわち穏やかな景色や風景を眺めること、らしいのです。

僕が夕陽を見て心が穏やかになっていくのはそういう理由もあったようです。他にも様々な恩恵があるとは思いますが、心がちょっと疲れたなあ、と思ったときはどうぞ空や海などを意識的に眺めてみてください。ほんの少し心と体の時間を穏やかになるはず。せかせかカリカリせず、穏やかに落ち着いて、本来の人間らしく過ごしたいものです。

教会ニュース

第2回ようぼく一斉活動日

6月1日午後1時から3時、幾志分教会を会場で開催され参加御供300円です。駐車場はありますが、出来るだけ乗り合わせてお越し下さい。

【天理教災救隊基金】についてのご報告

◎バザー売上金：35,450円 ◎募金：23,550円

総額59,000円を『天理教災害救援ひのきしん隊基金』に振り込ませて頂きました。この度はお心寄せ頂きまして、誠にありがとうございました。